

事例
10-00

夏まつりでの住民による花火の打上げ

佐伯区・美鈴が丘団地

【取組主体：美鈴が丘まちづくり協議会】

概要

毎年8月に開催される夏まつりをさらに盛り上げ、団地活性化の起爆剤となるよう、美鈴が丘団地の空に25発の花火を打ち上げました。

- 夏まつりが盛り上がっている20時30分頃、夏まつり会場から500m離れた団地内の小学校のグラウンドから4本の打揚筒を使って25発の花火を打ち上げました。
- 打ち上げたのは全員住民で、公益社団法人日本煙火協会が主催する講習（5月開催）を受けた「美鈴の空に花火を打上げ隊」のメンバー5名です。
- 小学校グラウンドの使用については小学校の許可を得て当日は教頭先生立会いの下グラウンド照明を点灯して打ち上げました。また、事前に消防署への届出も行いました。

取組内容

花火の概要	25発（4号玉10発、3号玉15発）
打上場所	美鈴が丘小学校グラウンド ※夏まつり会場から500m離れた公園
費用	約16万7千円（打揚筒、防護板、花火代、講習会受講料等） ・打揚筒@約1万2千円×3本 ※4号玉用打揚筒1本は無償レンタル ・防護板（コンパネ）約8千円 ・花火代@約4千円×25発 ・講習会受講料@3千円×5名 など ※うち10万円は市の補助金「まるごと元気」住宅団地活性化補助金により対応

ポイント

- ★ 世代間の交流を図るとともに、打上げのノウハウを引き継ぐため、「美鈴の空に花火打上げ隊」のメンバーは若手住民とベテラン住民とで構成しています。
- ★ 「来年は花火の数をもっと増やしたらどうか」という意見が出るなど、住民に非常に好評で、子どもたちの思い出にもなったようです。



夏まつりの様子



花火の打上げの様子と打揚筒

